



「大丈夫、一人じゃないよ」

不登校で 悩んでいる 人・家族へ

1～2 **特集** 不登校で
悩んでいる人・家族へ
「大丈夫、一人じゃないよ」

- 3 ● 新潟市の財政状況
- 4 ● 映画「めぐみ」上映会
● 灯油漏れに注意
● リチウムイオン電池の事故
に注意
● 入浴中の事故・餅での窒息
に注意
- 5 ● 12/1 **月**は世界エイズデー
● 12/4 **木**～10 **水**は人権週間
おでかけナビ

他3ページは区役所だより
「情報ひろば」は別冊で発行しています



小・中学生の不登校者数は年々増加しています。学校に行けなくなる理由はさまざまです。今号は、子どもが自分らしく生活できるようになるための取り組みを紹介します。

閤 学校支援課 (☎025-226-3299)

不登校のこどもはさまざまな思いを持っています。ただ学校に行きたくない気分だから行かないというわけではありません。周りの大人は、ぜひこどもの気持ちに寄り添ってあげてください。焦らず、無理せず、休むことも大切です。「我慢しても学校に行くのが当然」ではなく、「苦しいうちなら距離をとる、違う形で学ぶ」ことが認められています。新潟市では多様なこどもたちに応じた学びの場や相談先を用意しているので、ぜひ活用してもらいたいです。

不登校になったらどうすれば？

不登校のこどもなどからあった相談など(全国)

学校生活にやる気が出ないなどの相談	30.1%
生活リズムの不調に関する相談	25.0%
不安・抑うつなどの相談	24.3%
学業の不振・頻繁な宿題の未提出	15.6%
いじめを除く友人関係の問題や相談	13.2%
親子の関わり方の問題の情報や相談	12.6%
家庭生活の変化の情報や相談	8.0%
障がいや理由とする特別教育支援の求めや相談	7.5%
個別の配慮(障がい以外)の求めや相談	6.4%
転編入学、進級時の不適応の相談	4.7%
教職員との関係の問題の情報や相談	3.1%
遊び、非行の情報や相談	3.0%
学校の決まりなどの相談	2.0%
いじめの情報や相談	1.4%

参考:文部科学省「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

時代の流れと共に、学校だけでなく家庭や地域の在り方が多様化しています。集団での学校生活に慣れることができなかったり、SNSなどで24時間友人関係が続いて、ストレスから解放される時間がなかったりします。さまざまな要因が絡み合っており、悩みや苦しみを抱えているこどもが不登校になっていると考えられます。

なぜ不登校に？

令和6年度に、全国の小・中学校の不登校者数は35万3970人に上り、12年連続で増加しました。新潟市でも増加していて、同年度は2301人でした。これは令和元年度に比べ2倍以上という数字になっています。

不登校のこどもはどれくらいいるの？

私が説明します



学校支援課 五十嵐